

第1回 学校評価の結果をお知らせします。

7月に教職員・児童・保護者を対象にして第1回学校評価が行われました。これは、学校が自らの教育活動及び学校運営が適切かを自己評価するとともに、保護者など学校にかかわる方からも評価を受け、その結果を公表・説明し、保護者や地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力のもと、よりよい学校作りを進めることを目的としています。学校の状態を客観的に見つめ直し、課題を探して、改善策を学校・家庭・地域それぞれが主体となって考えるためのものです。

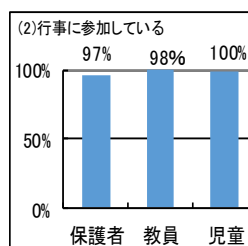


児童のいるご家庭には「学校評価だより」でより詳しい評価結果をお知らせしています。この「丹生小だより」では、全体の様子と本校に特徴的な評価結果、ご家庭や地域の方々にさらにご協力いただきたいことなどを中心にお知らせします。

【Ⅰ 保護者との連携】

「保護者への情報提供」「学校行事への参加しやすさ」「連絡相談のしやすさ」どの項目も良好な評価結果になりました。特に学校行事への参加率は非常に高く、協力いただけているのがわかります。今後も予定等をなるべく早く知らせ、参加協力が得られるようにします。また「相談しやすさ」については、毎学期「相談日」を設け、担任等との相談ができるようにするとともに、森田スクールカウンセラーの日程を知らせ、相談体制を整えていますが、気になること等はいつでも遠慮なくお話いただけると助かります。

富岡市のインターネットシステムの変更に伴い、丹生小のホームページも変わりました。学校の様子をPC・スマホ等で見られますのでご覧ください。

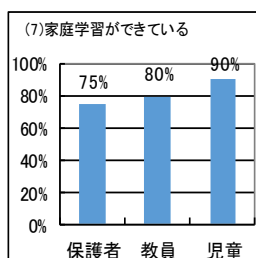
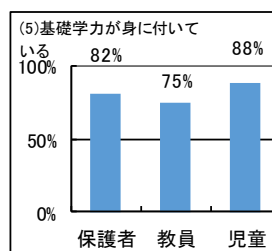


【Ⅱ 確かな学力】

丹生小ホームページ QRコード→



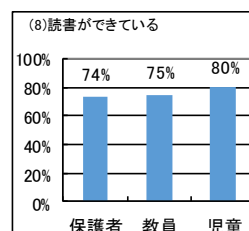
「基礎基本の定着」では保護者・児童はまずまずの評価ですが、教職員は「もっとできるはず」と達成率75%（達成率はA・B評価の合計の割合）と辛めに評価しています。少人数のよさを生かして「学習のめあて」を児童とともに設定し、児童が「わかった」「できた」と実感できるよう改善を進めます。また児童の一人一人の達成状況をしっかり見取り「適切な評価とそれを生かした指導」を進めます。



「家庭での学習」では保護者の評価が75%

と低めです。低学年では「宿題」での学習習慣づけがメインですが、高学年になるにつれ自分に必要な学習を自分で考えることが大事になります。「チャレンジ学習」と名付け家庭学習に各学年で取り組んでいますので、学習の仕方を助言するなどして児童のやる気が続くよう学校・家庭が協力できるようにします。

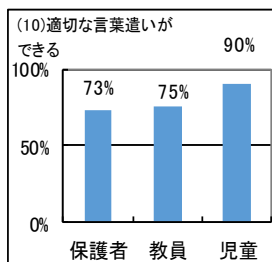
「読書」は児童も含め達成率80%以下と低めです。小学校までに活字に触れる経験は一生の学習能力を左右するという統計もあるそうです。学校では昨年度から毎月4・6の付く日を「家庭読書の日」として、家族と一緒に本を読むきっかけ作りをして



います。保護者や地域の方に読み聞かせもしていただく中で、学年相応の図書などと難易度を過度に意識せず、易しい本でも自分から進んで活字を追えるような経験をさせたいと思います。

【Ⅲ 豊かな心】

地域の方・保護者による読み聞かせ→



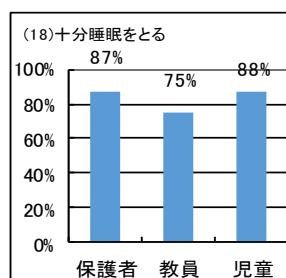
「挨拶・言葉遣い」では児童は達成率90%ですが、保護者・教職員は80%以下と低めです。挨拶などの声が小さく「自分はしているつもりでも相手に聞こえない」ことが考えられます。地域からは「児童がよく挨拶してくれる」「遠くから挨拶してもらえてさわやかだった」というご意見も伺っています。

相手に届く明るい声で挨拶が続けられるよう、また、フォーマルな場面ではきちんとした受け答えができるようご家庭や地域でもご指導をお願いします。

「いじめのない学校づくり」はおおむね好評価です。学級経営・道徳を中心に、全校の人権尊重の取組等で、相手を思いやり、自分も相手も大切にできるよう引き続き指導します。

児童玄関わきに遊びの道具をそろえました→

【Ⅳ 健康・体力】



「基本的生活習慣」「体力づくり」は両方とも良好です。「十分な睡眠」の児童評価が75%で、やや課題がありそうです。

「睡眠負債」という言葉も聞かれますが、子どものうちから、将来の健康な生活のためには十分な睡眠を心がけることが大切だということを、学校・家庭で協力しながら指導したいと思います。体力テスト等の結果からは、毎日歩いて通学する

生活が児童の体力を支えていることがわかります。学校では『竹馬』『一輪車』『リム回し』『テニスラケット』『なわとび』『ボール』などを使いやすく整備し、児童が休み時間にたくさん遊べるようにしました。

交通指導員さんにお世話になった交通安全教室→

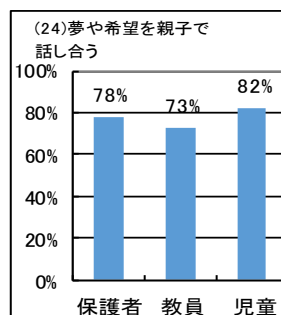
【Ⅴ 安全確保・施設設備】

「学校の施設設備」「学校の安全対策」「地域の安全対策」では、保護者の評価が80%以下でした。校内では安全点検を実施し、安全上課題のある遊具等は使わないようにしたり、避難訓練を実施し危機回避能力の育成に努めたりしています。

また、地域安全見守り隊等の協力を得て登下校時の見守りをしていただいています。通学班の安全指導や話合いも集団登下校の機会をとらえて常時行っています。しかし、近隣の道路工事等もあり心配はつきものです。今後も保護者や地域の方々のご協力をいただきながら、安全確保に努めていきます。また、緊急メール等を使って自然災害等にも迅速な対応ができるよう努めます。

【Ⅵ 進路・生き方】

「夢や希望」の項目で親子で話し合う機会をつくれるよう働きかけていますが、評価は保護者・教職員とも80%に届きません。子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するための教育がキャリア教育（進路・生き方を考える教育）です。今後も、道徳や総合的な学習の時間の内容と関連させながら、家庭にもご協力いただき、子どもの今の頑張りに意味づけしたり、続けることの大切さを感じさせたりしたいと思います。



↑全校での遊びの時間
ゴーパースペシャル

